

● 地域ぐるみで子育て支援(入曽地区)



毎月第1水曜日、水押自治会集会所で、自治会主催による子育て支援広場を開催しています。友だちづくりやおしゃべりの場として、気軽に参加してみたいかがでしょうか。

● 女性のおしゃれに見る戦後60年の歴史

4月18日、博物館で、講演会「戦後60年おしゃれにみる女性史」が行われ、画像を交えた講演をとおして戦後から現在までの女性のおしゃれを楽しみました。



● テニスで心も体もリフレッシュ



4月7日～5月12日の水・金曜日、入曽多目的広場でテニス教室が行われました。参加した40名の受講生は、基礎からゲームでの確実なプレーまでを熱心に学んでいました。

さやまの教育 **元気な さやまっ子**



**教育長からメッセージ**  
教育委員会の事務を統括する立場として、学校教育では、家庭や地域と連携して、次代を担う子ども達に、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進するとともに、学校施設の改修などにより、安全で快適な学習環境の確保に努めてまいります。また、生涯学習では、特に社会教育について、公民館事業などにおける現代的課題への取り組みを強化するとともに、学校と連携して家庭や地域の教育力の向上にも取り組み、学校教育と社会教育の両面から、狭山市の教育を高めてまいりたいと考えています。

松本晴夫教育長

.....

**日本語支援員**  
ニホンゴシエンイン

廣川 アユミさん  
(入間川・新狭山小学校、堀兼中学校勤務)

フィリピン、アメリカ、中国、インドネシア、イギリス、ペルー、コロンビアなどからやって来た小・中学生と、楽しく日本語の勉強を続けて今年で7年めになります。



日々の生活で、驚くほど早く話し、言葉を身につける彼らですが、漢字や言葉の決まりを理解するには時間がかかるようです。そのお手伝いをしながら、異文化への戸惑いや友だち関係に悩む彼らの心のうちをじっくりと聞いてあげたり、必要に応じて、算数、理科、社会の指導をするのも日本語指導員の仕事です。楽しく学んで、狭山にいっぱい友だちをつくってほしいものです。

**わがまちの消防団**  
**・消防協力団体** vol.2  
- 狭山市消防団第1分団 -

私たち第1分団は、入間川、狭山、富士見、祇園、狭山台を管轄地域としています。

第1分団は、1部と2部の2つの部から構成されており、現在40名の団員で、消火訓練や地域の警戒、各自治会の防災訓練などを行っています。

団員は、「自分たちのまちを、自分たちで守る」を念頭に置き、それぞれ仕事を持ちながら、災害時には消火活動や避難誘導に取り組んでいます。

いろいろ大変なことはありますが、やりがいもあり、信頼できる仲間がたくさんできる団体です。

狭山の中心地である第1分団で活動しましょう。  
問合せ消防総務課へ 2953 7112



(写真は22年1月10日の出初式)  
自分たちのまちを守るため、一緒に汗を流しませんか

# ひとまち写真館

human Town Photo studio

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

## ● おいでよ いるまおい 入間川春まつり



国際色豊かな模擬店が並びました



ウォークラリーは、ポイントを通りながら入間川のまち巡り



メイン会場では、入間川中学校吹奏楽部の演奏やバルーンアート、ライブなど、盛りだくさんのイベントを開催

4月10日、入間川七夕通り駐車場をメイン会場に入間川春まつりが開催されました。各種イベントや模擬店、狭山市駅西口地区のまち開きを記念したウォークラリーなどで、多くの人が春の1日を楽しみました。



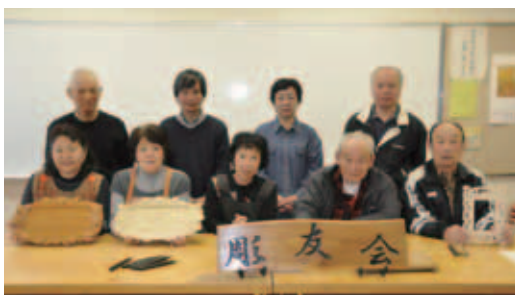
柔らかい新芽を丁寧に摘み取りました(茶摘み体験)

## ● 新茶と花の香りに包まれて

4月29日・昭和の日、市役所ロータリーで「狭山新茶と花いっぱいまつり」が行われました。茶摘み体験、手もみ茶の実演、野菜・果物直売、花の無料配布、ステージアトラクションや模擬店など、盛りだくさんの内容でにぎわいました。



太鼓の音が心と体に響きわたり、会場の雰囲気盛り上げました(和太鼓狭山けやき会)



手作りの楽しさを一緒に味わいましょう

# Hello ハロー 仲間たち

Vol.345

## 彫 友 会

私たちのサークルは、平成12年に富士見公民館の体験講座をきっかけに始まった木彫のサークルで、現在13名の会員が毎週金曜日、同公民館に集まり活動しています。

木彫とは、木を彫って形や模様を作り、一つの作品にしていくものです。材料は、桂シナ、ポプラなどを使用し、彫り方も、丸彫り、透かし彫り、浮き彫りなどいろいろあり、一つの作品を作り上げるのに3〜4か月かかります。毎年市民展、文化祭などへの出展を目標に、より立体的でリアルな作品を作ろうと、会員それぞれがお互いに楽しく話し合いながら活動しています。

木彫の楽しいところは、年齢に関係なく続けることができ、また、オリジナル作品として残り、友人や知人にプレゼントをして喜ばれることです。さらに一番良いところは、活動とおして地域の皆さんとの出会い、仲間づくりができることです。毎年、親睦会や旅行なども行っています。

皆さんも一緒に、世界に一つだけの作品づくり、仲間づくりに参加しませんか。

問合せ 小黒六次郎さんへ

2957 6128